

新着おすすめ本

2018. 1-2

10日暮らし、特濃シンガポール

(著) 森井ゆか



高層ビルが建ち並び、クリーンなイメージのシンガポール。実際は、様々な国の文化が入り混じったエネルギッシュな国だった！祭り、グルメ、アートにアウトドア…ガイドブックには載らないシンガポールの素顔を、暮らすように旅した筆者が綴ります。

3月より、カウンター横にて『もっと知りたい！アジアの国々』をテーマに、アジアに関する書籍を展示・貸出します。是非お手に取ってご覧ください！



今を生きる人のための世界文学案内

(著) 都甲幸治



次に読む本を探している方へおすすめの一冊。翻訳家として活躍する著者が、国・言語を問わず面白いと思った作品だけを取り上げた書評集です。読書日記や自伝的なエッセイも掲載されており、著者のその読書量に驚かされます。

ねじ曲げられた「イタリア料理」

(著) ファブリツィオ・グラッセリ



日本のイタリア料理は間違だらけ！？在日イタリア人による、「本当の」イタリア料理を知ってもらう為の痛快料理エッセイです。ピッツアやトマトソース、パスタにオリーブオイルまで、それぞれの歴史をなぞりながらイタリアの「本当の」食文化を解説します。

Airbnbで叶えるユニークな暮らし

(監修) Air bnb Japan



旅行者と空き部屋を提供するホストをつなぐオンライン市場のAirbnb。本書は日本人ホスト20名に、始めたきっかけやおもてなしの工夫をインタビューした日本初の公式本です。本格化する民泊を考える上でも、191ヶ国に広がるAirbnbの世界を覗いてみませんか？

だから、居場所が欲しかった

(著) 水谷竹秀



バンコク・コールセンターで働く日本人の実態に迫ったルポルタージュ。日本を離れた理由は様々ですが、中でも共通するのは日本で「生きづらさ」を感じたからだ、と語られています。英語もタイ語も話せない日本人が、バンコクに求めた「居場所」とは？

児童向けの本

楽しく学んで力がつく！こども世界地図

(編) 永岡書店



豊富な写真とイラストで、世界の国々について知ることができる“こども地図帳”。地理だけでなく、時差や気候についても分かりやすく解説します。国旗カードも付属しており、遊びながら国旗を覚えることもできるので、是非お子さんと一緒にお楽しみください。

ボトルクリーク絶体絶命

(著) ワット・キー



主人公は、ハウスボートに住む少年・コート。ある日、100年に1度の巨大ハリケーンが発生し、家が流されてしまいます。荒れ狂う川を乗り越え、逃げ込んだ先にはワニやクマなどの野生動物が待ち受けていて…手に汗にぎるサバイバル・アドベンチャー。